

## バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ(BDMSn) タイの医療ツーリズム市場は年11%のペースで伸びる見通し、売上に占める保険適用額の比率を高める方針 タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2018/12 期 1Q (1-3 月) は売上高が前年同期比 15.2%増の 200.43 億 THB、EBITDA が同 30.2%増の 49.33 億 THB、税引前利益が同 47.5%増の 36.95 億 THB、純利益が同 47.9%増の 29.19 億 THB であった。
- 病院事業ではタイ人・外国人ともに患者数が増加した。インフルエンザ患者の増加や公的医療保険の適用範囲の拡大なども寄与した。
- タイの医療ツーリズム産業は、2019 年まで年 11%のペースの成長が見込まれる。また、同社は、売上高に占める医療保険適用金額の比率を戦略的に高めていく方針である。

### What is the news?

2018/12 期 1Q (1-3 月) は売上高が前年同期比 15.2%増の 200.43 億 THB、EBITDA が同 30.2%増の 49.33 億 THB、税引前利益が同 47.5%増の 36.95 億 THB、純利益が同 47.9%増の 29.19 億 THB。病院事業、商品販売事業がともに伸びた。病院事業では、インフルエンザ患者の増加や公的医療適用範囲の拡大なども寄与し、患者数が増加した。商品販売事業では、子会社で国内向け販売や輸出が伸びた。また、営業費用が同 10.4%増の 163.98 億 THB と売上の伸びに対して緩やかであったことや、転換社債の償還に係る調整により金融費用が減少したことなども増益に寄与した。EBITDA マージン比率が前年同期の 21.8%から 24.6%に改善した。

事業別の概況は以下の通り。病院事業の売上高は、同 15.3%増の 190.57 億 THB。インフルエンザの流行や公的医療適用範囲の拡大なども寄与し、10 の拠点で患者が増加。総患者数は同 16%増となった。タイ人患者・外国人患者ともに伸びており、外国人患者の増加率は同 12%だった。主に中国、カンボジア、クウェートからの患者が伸びを牽引。病院の展開地域別では、バンコク近郊、内陸ともに堅調であった。売上高はそれぞれ、バンコク近郊の病院が同 13%増、内陸の病院が同 18%増であった。また、同事業部門の売上高のうち、医療保険適用分の割合が前年同期の 26%から 29%へ拡大した。商品販売事業の売上高は、同 19.5%増の 7.83 億 THB だった。子会社の A.N.B ラボラトリーズ (A.N.B) で国内向けの販売や輸出が伸びたほか、バンコクセーブドラッグ (Save Drug)、メディファーマ (Medicpharma) などでも売上高が伸びた。

### How do we view this?

同社によると、タイの医療ツーリズム市場は、2019 年まで年 11%のペースの成長が見込まれる。また、タイの医療保険業界では、タイ政府が医療保険料の課税控除を認めたことを背景に、保険会社が地元病院と協力して民間医療保険加入率を高める取り組みを行っているもよう。同社は、売上高に占める医療保険適用金額の比率を戦略的に高めていく方針である。2018/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 5.9%増の 761.74 億 THB、当期利益が同 2.9%減の 99.21 億 THB である。

### 業績推移

※参考レート 1THB=3.33円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高(百万THB)	63,841	67,903	71,932	76,174	83,788
当期利益(百万THB)	8,020	8,386	10,215	9,921	11,243
EPS(THB)	0.52	0.54	0.66	0.64	0.72
PER (倍)	50.96	49.07	40.15	41.41	36.81
BPS(THB)	3.39	3.60	4.07	4.41	4.75
PBR (倍)	7.82	7.36	6.51	6.01	5.58
配当(THB)	0.26	0.29	0.36	0.34	0.39
配当利回り (%)	0.98	1.09	1.36	1.30	1.47

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB) **0.34** (予想はBloomberg)  
 終値(THB) **26.50** 2018/7/23

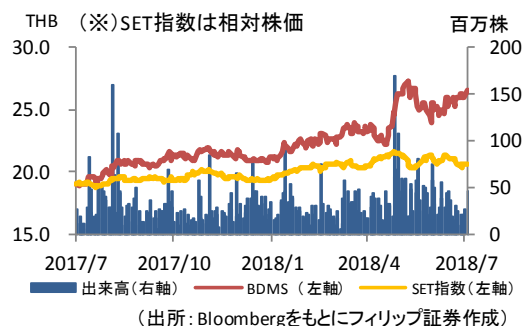
### 会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で43院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院(バンコク心臓病院)や民間がん病院(ワタノス病院)、小児病院(サミティベート小児病院)を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、ロイヤルバンコク病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全45病院のうち26の病院および臨床プログラムが、ジョイント・コミッション・インターナショナル(JCI)の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。医療水準やサービスの質を維持するために、新たにネットワークに加わる病院は設備や人材、サポートシステムなどで基準を満たす必要がある。

### 企業データ(2018/7/24)

ベータ値	0.48
時価総額(百万THB)	416,578
企業価値=EV(百万THB)	451,242
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,020.6



### 主要株主(2018/7)

株主	(%)
1.Prasarttong-Osoth Prasert	18.58
2.BANGKOK AVIATION PCL	6.48
3.Viriyah Insurance Co Ltd	6.09

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 庵原 浩樹  
 +81 3 3666 6980  
 hiroki.i.hara@phillip.co.jp

2018年7月24日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。